

連動操作盤 取扱説明書

■ 概要

本連動操作盤は煙感知器の作動により、防火戸、シャッター、排煙口、非常口等を自動的に制御することができます。又、他設備への連動のための無電圧移行接点を備えています。停電時には自動的に予備電源に切り替わり機能を維持します。

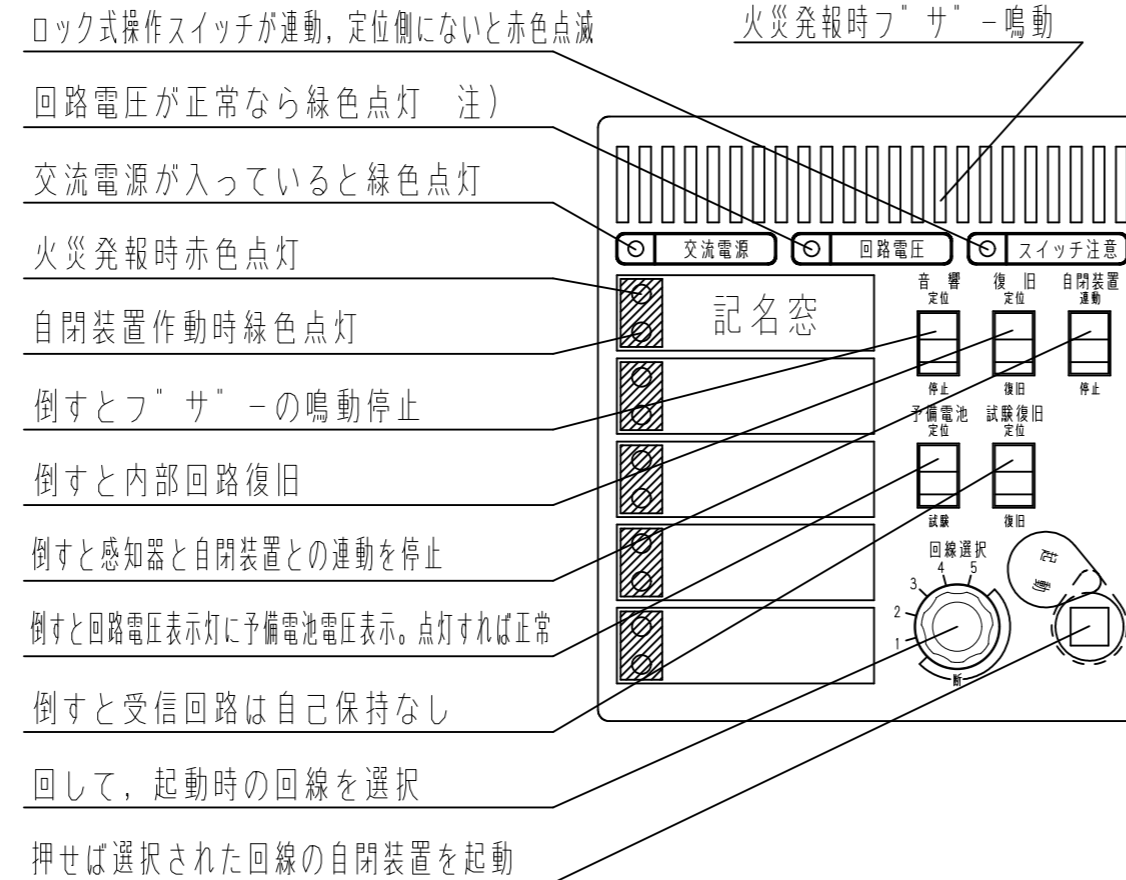
■ 仕様

	露出型	埋込型
品番	NLD910AEB**H	NLD910AFB**H
自主評定 型式承認番号	A-01-197	

品番の**は回線数を表します。

主電源：AC100V 50/60Hz 103VA
 予備電源：DC24V 1.2Ah
 回線数：3回線, 5回線
 煙感知器接続数：20個/1回線
 自閉装置(通電作動形)駆動電流：連続通電
 DC24V 2A/1回線, 同時作動 2A
 無電圧移行接点容量：DC30V 2A
 使用温度範囲：0°C~40°C
 外形寸法, 質量：露出型 220*420*100
 約8.5Kg
 埋込型 220*420*100
 約8.5Kg

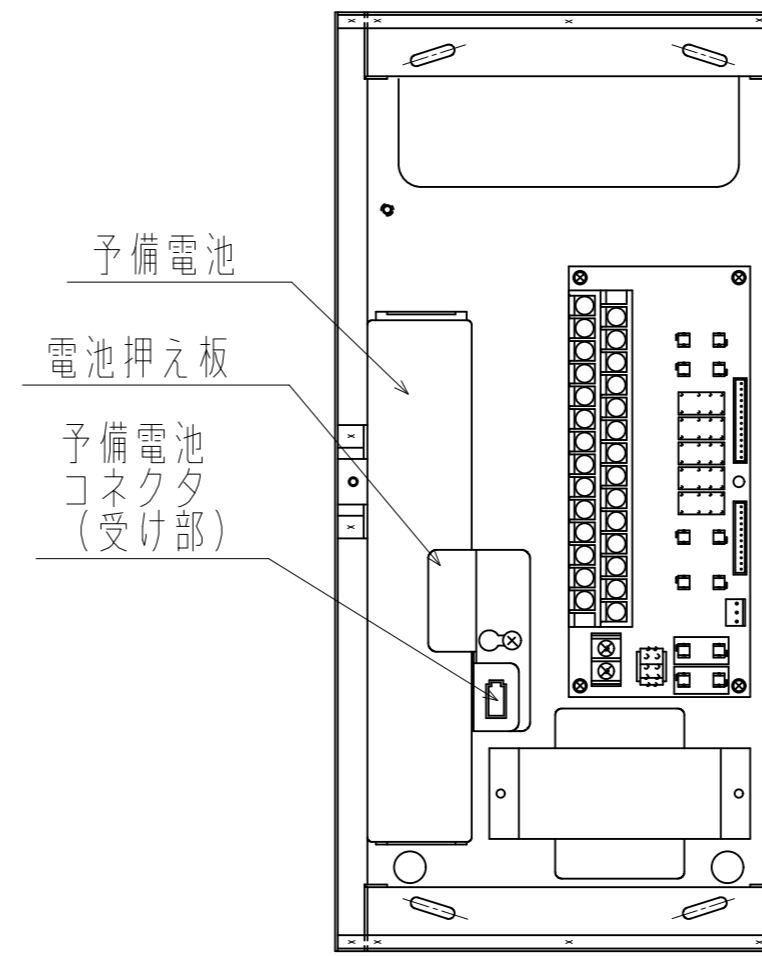
■ 各種表示灯, 操作スイッチの機能



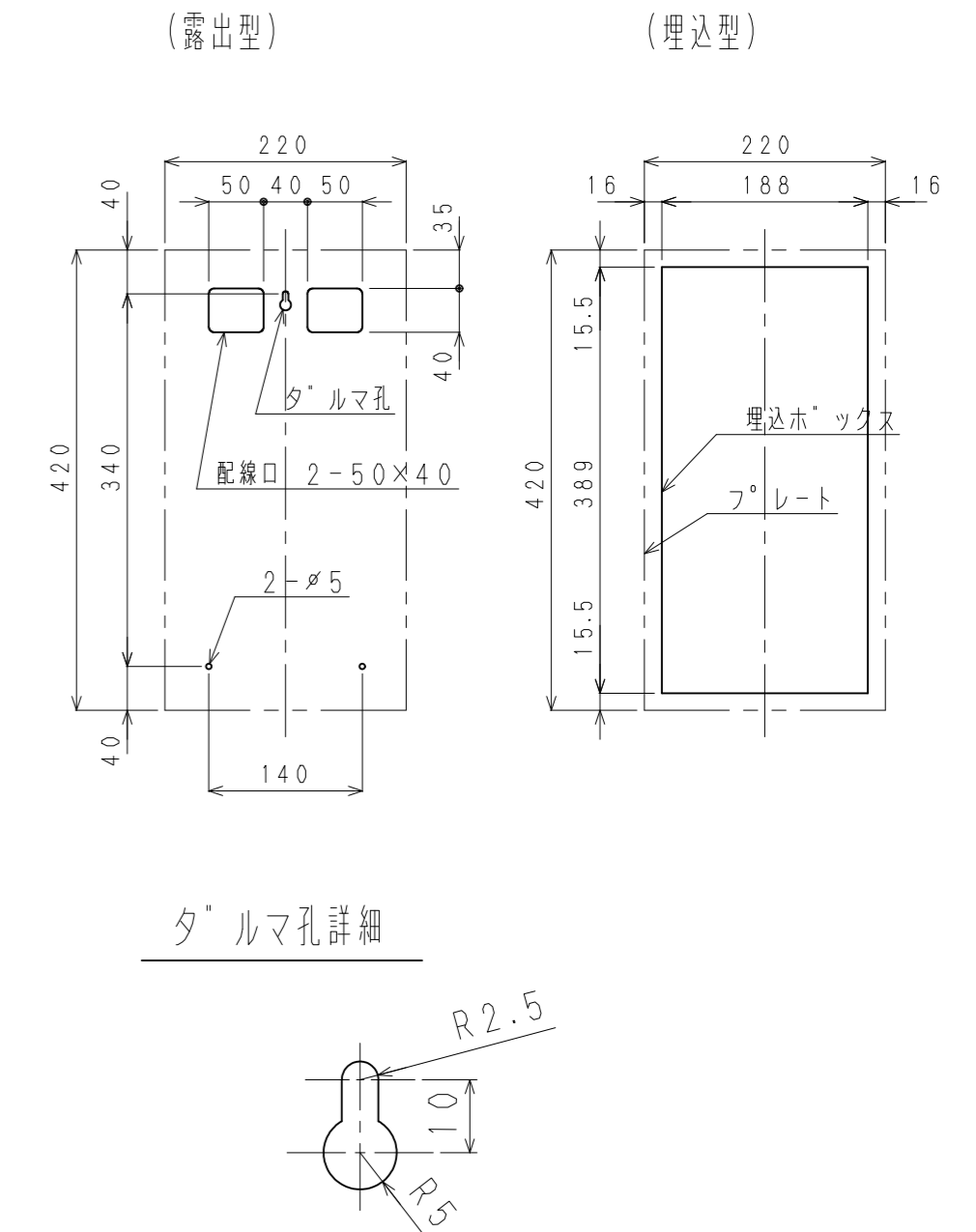
注) 回路電圧表示灯は、試験中(約3秒程度)かすかにでも点灯していれば正常です。

■ 予備電池の収納位置/交換

*予備電池の交換は、電池コネクタを抜いた後、電池押え板をはずして行います。電池交換後、電池コネクタの差し込みは、確実に行って下さい。



■ 取付寸法

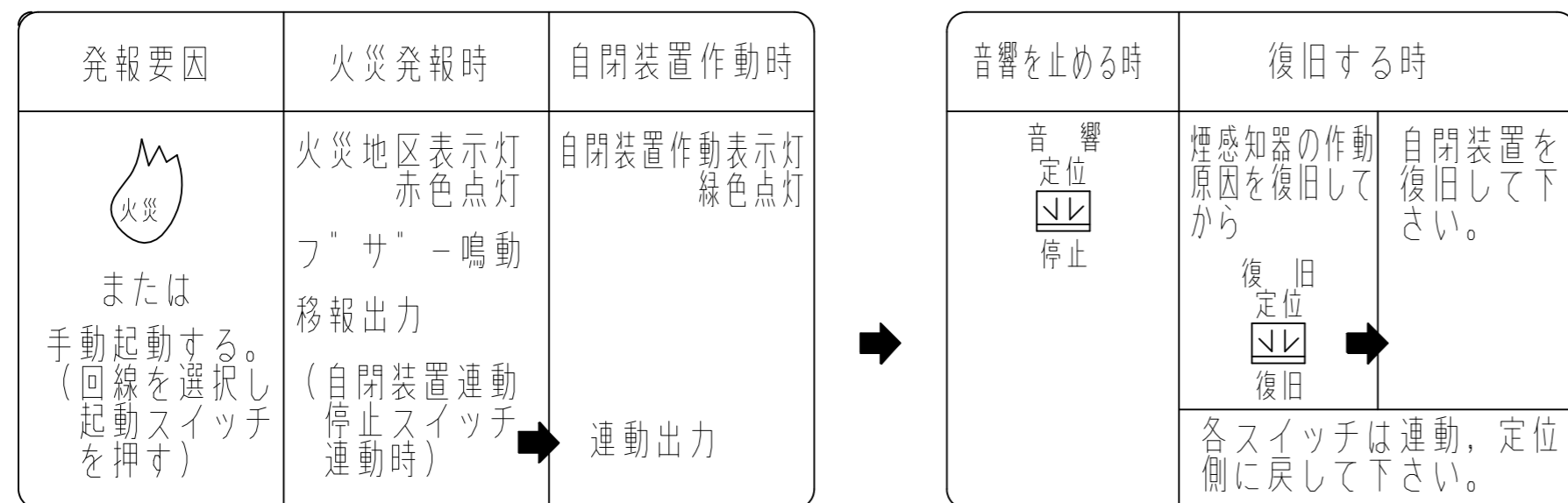


■ 動作及び取扱い方法

□ 平常監視状態

- 盤内部の主電源スイッチをON側に倒し、予備電池のコネクタを接続して下さい。
 - 交流電源表示灯, 回路電圧表示灯が点灯します。停電すると、交流電源表示灯が消え自動的に予備電池に切り替わります。
 - 操作スイッチは全て連動, 定位側にして下さい。
- 上記の状態にならない場合には直ちに処置し正常な監視状態にして下さい。

□ 火災発報時



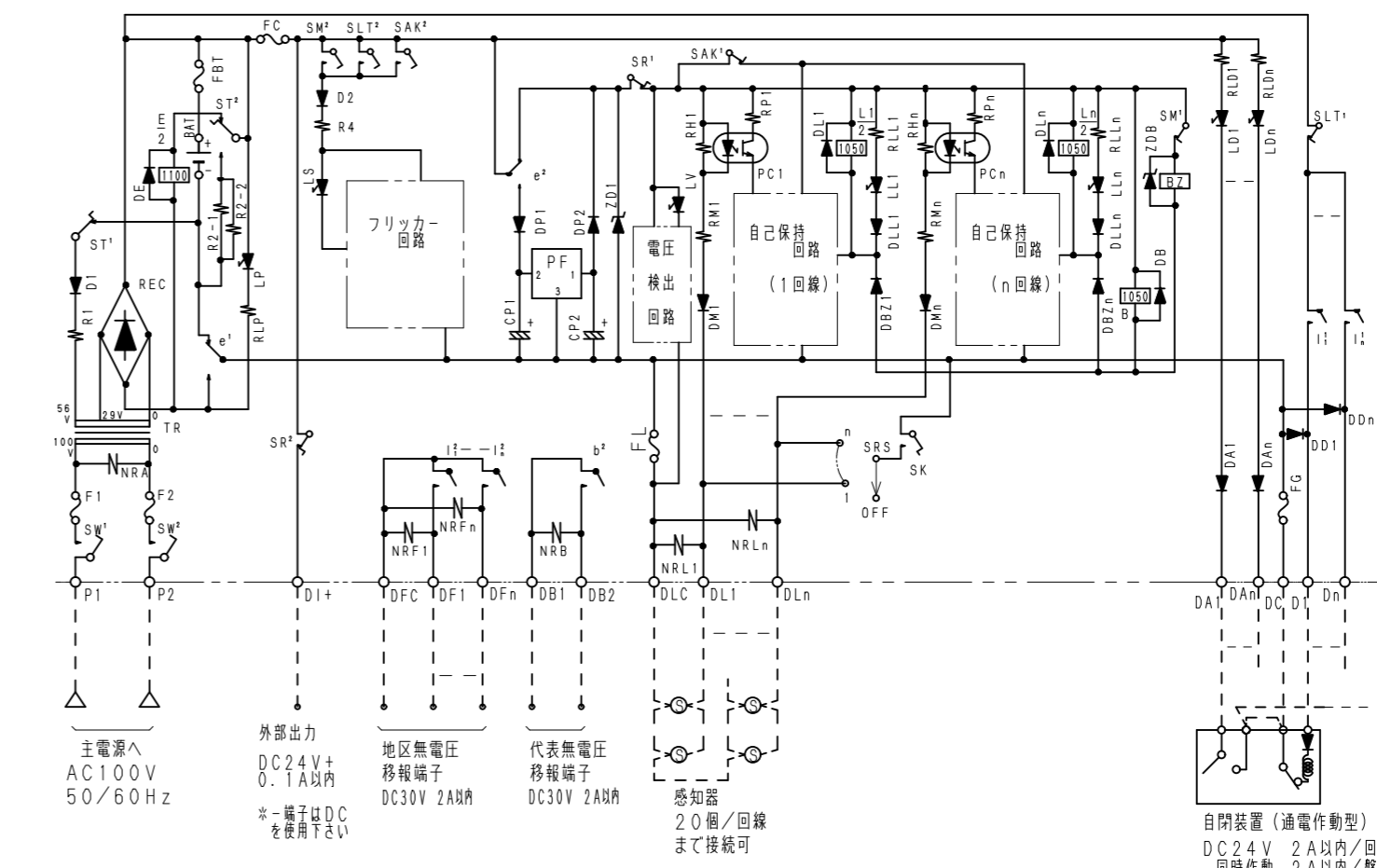
□ 予備電池試験方法(予備電池試験スイッチを試験側に倒す)

- 回路電圧表示灯が点灯すれば予備電池は正常です。約50時間充電しても回路電圧表示灯が点灯しない場合には予備電池を交換して下さい。

□ 作動試験方法(煙感知器を発報させるか, 回線を選択し起動スイッチを押す)

- 試験を行う場合には連動して作動する設備内容に十分注意し, 必ず関係者の了解を得て実施下さい。
- 必要のない時には, 音響停止スイッチ, 自閉装置連動停止スイッチを停止側に倒してから試験して下さい。
- 試験復旧スイッチを復旧側に倒しておくと煙感知器(非自己保持式)が復旧すれば本機も自動的に復旧します。

■ 回路図及び接続図



記号	名称	仕様
SM	音響停止	スイッチ AC125V 6A L
SR	復旧	AC125V 6A NL
SLT	自閉装置連動停止	AC125V 6A L
ST	予備電池試験	AC125V 6A NL
SAK	試験復旧	AC125V 6A L
SK	自閉装置起動	DC48V 50mA NL
SRS	回線選択	DC45V 0.25A
SW	主電源	AC125V 6A L
L1.1	火災地区	表示灯 2V 2.5mA
LD1	自閉装置作動	2V 2.5mA
LP	交流電源	2.1V 2.5mA
LS	スイッチ注意	2.1V 2.0mA
LV	回路電圧	2.1V 2.5mA
E	リレー	2A, 1050a, 2T
		5A, 1100a, 2T
BZ	音響	DC24V 0.023A
TR	トランス	103VA
REC	シリコンスタック	200V 4A
BAT	蓄電池	DC24V 1.2Ah
PF	3端子レギュレーター	2A 24V
	タ'イオート'	6.00V 1A
	ツェナータ'イオート'	1W, 3.5V
CP1	コンデンサ	50V 1000μ
R1	抵抗	10W 5.60Ω
R2-L, Z		20W 4.3Ω
RP1		1/4W 10KΩ
RH1		1/4W 8.2Ω
RP		2W 2.5KΩ
RF1		1W 2.5KΩ
RW1~R4		3W 5.60Ω
F1, 2	ヒューズ	2A
FBT		4A
FC		1A
FL		1A
FG		3A
	ハ'リスタ	65V 0.2W
	サー'アフ'ソー'ハ'	200V 0.6W
PC1	フォトカプラ	8発:80V, 50mA

安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでも活用できるようにして下さい。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

	危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うか又は防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
	警告	取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか又は防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
	注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか又は防災機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合及び防災機能を長期にわたって有効に活用する上で、是非守ってほしい事項。

左の記号は危険、警告、注意を促す内容であることを告げるものです。
たとえば は、「感電注意」を示しています。

左の記号は禁止の行為を告げるものです。

左の記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
たとえば は、「アース線を接続すること」を示しています。

取扱い上の注意事項

	操作盤のスイッチ等が正常な監視状態にあるか確認して下さい。 正常な監視状態でないとき火災時に正しく動作いたしません。
	消防設備士の資格者以外は本体内部に手を触れないで下さい。 感電、故障の恐れがあります。
	保守、点検以外で音響を停止しないで下さい。 火災時に警報音が出ないため防火戸、シャッター等の作動に気づかない危険があります。
	感知器を塗装したり、覆ったりしないで下さい。 不動作、作動遅れの原因となります。
	感知器は、絶対に取り外さないで下さい。 出火時に火災発見ができません。
	非火災報が発生した場合は専門業者にご相談下さい。

取扱い上の注意事項

	火災の鎮火前に機器の復旧操作は行わないで下さい。 火災拡大の危険があります。
	機器の操作は必ず手で行って下さい。 手以外のものでは確実な操作ができず、機器を破損することがあります。
	スイッチを「定位置」にして下さい。 「定位置」にしないと火災の時、正しく動作しません。
	スイッチカバーは操作後必ず閉じて下さい。 誤操作の原因となります。
	清掃時にスイッチを操作しないよう十分注意して下さい。 誤って操作すると正常な火災監視ができなくなる恐れがあります。
	防火戸、防火シャッター、防煙垂壁等の近くに物を置かないで下さい。 火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大する恐れがあります。
	感知器の下で多量の煙、蒸気又は高熱を発する物を使用しないで下さい。 非火災報の原因となります。
	本防災システムは法の定めるところに従って、必ず定期点検を行って下さい。 この定期点検を怠ると火災時に正常に機能しない恐れがあり、その責任を問われることがあります。
	ヒューズは必ず定められたものをご使用下さい。 それ以外のものを使用した場合、故障、発火の原因となります。
	ヒューズ交換は入力電源（交流100V）を遮断した状態で行って下さい。 感電の恐れがあります。
	機器の故障時は速やかに契約先に連絡して下さい。 故障を放置すると正常に機能いたしません。
	予備電池には寿命があります。5年を目途に交換して下さい。 停電時正常に機能しない場合があります。
	ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。 再利用しますので廃棄しないで、ニカド電池リサイクル協力店にご持参下さい。 なお、端子又は接続コードにテープ等を貼り付けて、絶縁してからご持参下さい。
	火災警報時に備え警戒区域図を把握しておいて下さい。 緊急時の避難活動等の対応が容易になります。
	各機器の正しい取扱いを理解し、緊急時の使用に備えて下さい。 緊急時の対応が容易となります。
	緊急時は操作手順に従って落ち着いて正確に操作して下さい。
	機器が汚れたら、本体部分はかたくしぼった布で拭いて下さい。洗剤等を使用すると、 変色や変質の原因となります。また、操作部分を清掃するときは、乾いた布で汚れを 拭き取るようにして下さい。清掃時スイッチを誤操作しないよう十分注意して下さい。

点検、整備上の注意事項

	水につけたり、水をかけたりしないで下さい。 故障、感電の恐れがあります。
	点検等で作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作して下さい。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害を及ぼす恐れがあります。

施工上の注意事項

	予備電池の取付け、交換時には電極をショートさせないで下さい。 火傷の恐れがあります。
	予備電池は必ず取付けておいて下さい。 予備電池が無いと停電時に機能いたしません。
	ぬれた手で制御盤の内部に触れないで下さい。 感電の恐れがあります。
	各端子への配線は所定の定格容量、極性に従い正しく配線して下さい。誤った場合、 故障、発火の原因となります。予備電池を取付ける時、極性を誤って取付けると発熱、 爆発する危険があります。

施工上の注意事項

	振動、騒音、湿気、ほこりの多い場所及び腐食性ガスが発生する場所へは設置しないで下さい。
	操作盤は、周囲温度が40℃より高い場所または0℃より低い場所へは設置しないで下さい。
	操作盤は取付要領書に従い、その重量に十分耐えるように、また、転倒しないように 強固に取付けて下さい。 安易な取付けは脱落、転倒により怪我のもととなります。
	誤って落下や衝撃を加え、変形した感知器は使用しないで下さい。 正常に機能しない場合があります。
	電源を接続する前に定格電圧を確認して下さい。 定められた電圧以外では故障又は発火の原因となります。
	施工中に発生したゴミ等は機器の中に残さないで下さい。 ショートや故障の原因となります。
	充電部の保護カバーは工事終了後、必ず取付けて下さい。 感電の恐れがあります。
	アース線を確実に接続して下さい。 使用時や漏電時に感電する恐れがあります。